



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス
 コード番号 3165 URL <http://www.fuco-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 武石 健次
 (氏名) 藤田 和弘

TEL 03-3254-5361

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	32,954	61.2	55	△80.4	140	△82.4	77	△84.3
27年9月期第1四半期	20,436	△26.2	282	20.9	798	73.5	497	101.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	31.63	—
27年9月期第1四半期	202.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	35,940	6,948	19.3
27年9月期	35,997	6,948	19.3

(参考)自己資本 28年9月期第1四半期 6,948百万円 27年9月期 6,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	15.0	150	△77.5	150	△86.8	100	△86.1	40.63
通期	93,000	△12.0	400	△52.1	400	△70.2	260	△70.3	105.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期1Q	2,529,100 株	27年9月期	2,529,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年9月期1Q	67,688 株	27年9月期	67,688 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期1Q	2,461,412 株	27年9月期1Q	2,461,481 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1 四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成27年10月1日～平成27年12月31日)における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続きましたが、中国および新興国における経済成長ペースの鈍化などにより先行きが懸念される状況で推移いたしました。一方わが国経済は、政府、日銀による経済・金融政策により緩やかに回復してきましたが、世界経済の影響を受け、先行きに不透明感が増しております。

当社が参入しております電子部品業界は、スマートフォン市場の伸びが鈍化しているものの、車載用途向け電子部品の市場は好調を維持しております。

この様な環境の中、当社におきましては、既存取引の強化及び新規顧客の獲得や取扱い商品の拡大に積極的に取り組む収益性の向上を目指してまいりました。具体的には仕入先と協働し顧客ニーズを的確に捉え、販売計画等の情報について早期キャッチアップとフォローに努めてまいりました。その結果、スマートフォン向け半導体やLCDモジュールは好調に推移しました。

売上高は329億54百万円(前年同四半期比61.2%増)となりました。円高傾向であったことなどにより営業利益は55百万円(前年同四半期比80.4%減)となりました。また、匿名組合契約終了に伴う匿名組合投資利益が78百万円発生したことにより、経常利益は1億40百万円(前年同四半期比82.4%減)となり、四半期純利益は77百万円(前年同四半期比84.3%減)となりました。

当第1四半期累計期間における事業部門別概況は、下記のとおりであります。

① 半導体事業

半導体事業は、当社取扱い製品が採用されているスマートフォンの新モデルの販売が好調であったことにより順調に推移しました。また、白物家電や車載用途向け半導体の需要も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は100億34百万円(前年同四半期は100億38百万円)となりました。

② LCDモジュール事業

LCDモジュール事業は、最先端技術である薄型化・軽量化を図ったインセル技術を採用した製品開発及び低消費電力化を仕入先と協働して推進することにより、顧客ニーズに合致した競争力のある製品の販売に注力してまいりました。これにより顧客の売上増加にも繋がりビジネスの拡大を図ることができました。

この結果、売上高は164億65百万円(前年同四半期比360.0%増)となりました。

③ パネル事業

パネル事業は、国内パソコン市場の縮小傾向が続く中で、大型・高付加価値デスクトップモニターや大型・高精度パブリックディスプレイの拡販に注力するなど、顧客・仕入先との緊密な連携を維持し顧客の需要の変動に対応することで販売の減少を最小限に抑えたことに加え、新規に携帯用小型パネルの販売が始まったことにより売上は微増にとどまりました。

この結果、売上高は60億36百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

④ 電子材料事業

電子材料事業は、スマートフォン用Li-ion(リチウム・イオン)バッテリーセルは競合メーカーとの価格差により新規受注が減少し、また有機EL用封止材も顧客製品の販売不振から需要が大幅に減少しました。

この結果、売上高は4億18百万円(前年同四半期比52.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、商品が2億48百万円増加したことと、売掛金が5億2百万円減少したこと等により、359億40百万円(前事業年度末比56百万円減)となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、短期借入金が19億91百万円増加したことと、買掛金が17億79百万円、未払法人税等が1億64百万円減少したこと等により、289億92百万円(前事業年度末比56百万円減)となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、四半期純利益により利益剰余金が77百万円増加したこと、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少が86百万円あったこと等により、69億48百万円（前事業年度末比138千円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では平成27年11月13日発表の業績予想に変更はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,319	1,495,122
売掛金(純額)	16,448,139	15,945,479
商品	13,506,462	13,755,140
その他	1,533,132	1,819,125
流動資産合計	33,015,053	33,014,867
固定資産		
有形固定資産	2,620,722	2,602,706
無形固定資産	8,638	7,399
投資その他の資産	352,601	315,856
固定資産合計	2,981,962	2,925,961
資産合計	35,997,016	35,940,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,607,290	18,827,446
短期借入金	5,999,959	7,991,589
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	255,044	90,587
賞与引当金	43,721	17,020
役員賞与引当金	30,000	—
その他	172,365	211,556
流動負債合計	27,228,381	27,258,201
固定負債		
長期借入金	900,000	870,000
退職給付引当金	91,763	95,032
役員退職慰労引当金	322,802	341,200
投資損失引当金	73,879	—
資産除去債務	30,206	30,317
その他	401,657	397,613
固定負債合計	1,820,309	1,734,163
負債合計	29,048,690	28,992,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,450	550,450
資本剰余金	2,382,670	2,382,670
利益剰余金	4,038,838	4,030,547
自己株式	△41,153	△41,153
株主資本合計	6,930,805	6,922,514
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,520	25,949
評価・換算差額等合計	17,520	25,949
純資産合計	6,948,325	6,948,464
負債純資産合計	35,997,016	35,940,829

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	20,436,780	32,954,822
売上原価	19,796,578	32,467,390
売上総利益	640,201	487,432
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	130,899	130,594
退職給付費用	15,262	4,575
役員退職慰労引当金繰入額	3,800	18,398
賞与引当金繰入額	16,388	17,020
その他	191,674	261,538
販売費及び一般管理費合計	358,024	432,126
営業利益	282,177	55,305
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,025	2,394
為替差益	527,746	24,256
匿名組合投資利益	—	78,782
その他	10,834	9,473
営業外収益合計	539,606	114,906
営業外費用		
支払利息	21,161	19,440
支払手数料	1,500	—
売上債権売却損	583	8,942
その他	67	1,514
営業外費用合計	23,311	29,898
経常利益	798,472	140,313
特別損失		
投資有価証券評価損	10,600	—
特別損失合計	10,600	—
税引前四半期純利益	787,872	140,313
法人税、住民税及び事業税	86,179	54,207
法人税等調整額	204,425	8,247
法人税等合計	290,604	62,454
四半期純利益	497,267	77,858

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。